

# 蒲郡バイパスがいよいよ開通!!

名豊道路は、名古屋と豊橋を結び、沿線の8市1町を通過する幹線道路として、長年にわたり人々の生活や経済活動を支えてきました。しかし、その中で唯一、蒲郡バイパスの1区間だけ未整備の状態が続き、市街地での渋滞やトラックの騒音などが課題となっていました。そんな中、多くの期待を集めた蒲郡バイパスがついに開通します。

このバイパスの開通により、名古屋と豊橋が1本の道としてつながり、地域間の移動が

これまで以上にスムーズになります。また、市街地を通過する車両が減ることで、渋滞や交通事故の減少が期待されます。さらに、観光や地域経済の発展にも大きな役割を果たすと考えられます。アクセスが向上することで、多くの観光資源を持つ本市の観光地としての魅力も広がります。このように、蒲郡バイパスの開通は、私たちの暮らしや経済、まちづくりに多くの効果をもたらすのです。



## 01 東西へのアクセスが便利に

名古屋方面だけでなく、豊橋方面へのアクセスも便利に。名古屋～豊橋はさらに20分の短縮が見込まれるなど、所要時間の短縮によって、より遠方からの集客が期待されます。

## 02 市街地の渋滞緩和

慢性的な渋滞が発生している、市役所通りや国道247号中央バイパス。開通によって、大型トラックなどが減ることで、渋滞が緩和され、道路の振動や騒音も改善されます。

## 03 物流の効率化と産業の発展

所要時間の短縮やトラックの輸送回数の増加によって、自動車部品などの工業生産品やみかん・いちごなどの農作物など、流通の拡大が期待されます。

## 04 緊急輸送道路の確保

道路は内陸部にあり、津波浸水を受けにくい高架構造で整備されているため、被災時には救援・救助活動や人員・物資輸送を担います。

開通すると?